

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 6 月 23 日 (2016.6.23)

【公開番号】特開 2014-30177 (P2014-30177A)
 【公開日】平成 26 年 2 月 13 日 (2014.2.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-008
 【出願番号】特願 2013-98896 (P2013-98896)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/28 2 0 0 Z

H 0 4 N 1/00 1 0 7 Z

H 0 4 N 1/32 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 5 月 6 日 (2016.5.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の電力モードと、当該第 1 の電力モードよりも消費電力が少ない第 2 の電力モード
 とで動作可能な画像処理装置であって、

前記第 2 の電力モードで動作する前記画像処理装置がパケットを受信した場合に、通信
 速度を維持したまま前記画像処理装置を前記第 1 の電力モードに移行させるか、通信速度
 をより高速な通信速度に変更して前記画像処理装置を前記第 1 の電力モードに移行させる
 かを、受信したパケットのボディ部に含まれている情報に基づいて決定する決定手段と、

前記決定手段による決定に従って、通信速度を維持したまま前記画像処理装置を前記第
 1 の電力モードに移行させる第 1 の処理と、通信速度をより高速な通信速度に変更して前
 記画像処理装置を前記第 1 の電力モードに移行させる第 2 の処理のいずれかを実行する制
 御手段とを備え、

前記第 1 の処理又は前記第 2 の処理によって前記第 2 の電力モードから前記第 1 の電力
 モードに移行した前記画像処理装置は、前記受信したパケットを処理し、

前記画像処理装置が前記第 2 の電力モードで動作する場合、前記画像処理装置は、第 2
 の通信速度で通信を実行し、前記第 2 の処理によって前記第 2 の電力モードから前記第 1
 の電力モードに移行した前記画像処理装置は、前記第 2 の通信速度より高速な第 1 の通信
 速度で通信を実行することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記第 2 の処理によって前記画像処理装置が前記第 2 の電力モードから前記第 1 の電力
 モードに移行した場合、前記制御手段は、前記受信したパケットの処理が完了したこと
 に応じて、前記画像処理装置を前記第 1 の電力モードから前記第 2 の電力モードに移行させ
 、更に、通信速度を前記第 1 の通信速度から前記第 2 の通信速度に変更することを特徴と
 する請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記受信したパケットのボディ部に含まれている情報が I P P 印刷を示す場合、前記決

定手段は、通信速度をより高速な通信速度に変更して前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させると決定することを特徴とする請求項１又は２に記載の画像処理装置。

【請求項４】

前記受信したパケットのボディ部に含まれている情報がＨＴＴＰアクセスを示す場合、前記決定手段は、通信速度を維持したまま前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させると決定することを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の画像処理装置。

【請求項５】

前記受信したパケットのヘッダ部で指定されているプロトコルが特定のプロトコルであり、かつ、前記受信したパケットのヘッダ部で指定されているポート番号が特定のポート番号である場合に、前記決定手段は、前記受信したパケットのボディ部に含まれている情報に基づいて、通信速度を維持したまま前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させるか、通信速度をより高速な通信速度に変更して前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させるかを決定することを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の画像処理装置。

【請求項６】

前記特定のプロトコルはＴＣＰであり、前記特定のポート番号は８０番ポートであることを特徴とする請求項５に記載の画像処理装置。

【請求項７】

前記画像処理装置は、印刷装置であることを特徴とする請求項１乃至６のいずれか１項に記載の画像処理装置。

【請求項８】

第１の電力モードと、当該第１の電力モードよりも消費電力が少ない第２の電力モードとで動作可能な画像処理装置の制御方法であって、

前記第２の電力モードで動作する前記画像処理装置がパケットを受信した場合に、通信速度を維持したまま前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させるか、通信速度をより高速な通信速度に変更して前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させるかを、受信したパケットのボディ部に含まれている情報に基づいて決定する工程と、

前記決定する工程における決定に従って、通信速度を維持したまま前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させる第１の処理と、通信速度をより高速な通信速度に変更して前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させる第２の処理のいずれかを実行する工程と、

前記第１の処理又は前記第２の処理によって前記第２の電力モードから前記第１の電力モードに移行した前記画像処理装置に、前記受信したパケットを処理させる工程と、

前記画像処理装置が前記第２の電力モードで動作する場合、前記画像処理装置に、第２の通信速度で通信を実行させ、前記第２の処理によって前記第２の電力モードから前記第１の電力モードに移行した前記画像処理装置に、前記第２の通信速度より高速な第１の通信速度で通信を実行させる工程と

を含むことを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項９】

請求項８に記載の画像処理装置の制御方法における各工程をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明は、例えば、画像処理装置として実現できる。画像処理装置は、第１の電力モードと、当該第１の電力モードよりも消費電力が少ない第２の電力モードとで動作可能な画

像処理装置であって、前記第２の電力モードで動作する前記画像処理装置がパケットを受信した場合に、通信速度を維持したまま前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させるか、通信速度をより高速な通信速度に変更して前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させるかを、受信したパケットのボディ部に含まれている情報に基づいて決定する決定手段と、前記決定手段による決定に従って、通信速度を維持したまま前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させる第１の処理と、通信速度をより高速な通信速度に変更して前記画像処理装置を前記第１の電力モードに移行させる第２の処理のいずれかを実行する制御手段とを備え、前記第１の処理又は前記第２の処理によって前記第２の電力モードから前記第１の電力モードに移行した前記画像処理装置は、前記受信したパケットを処理し、前記画像処理装置が前記第２の電力モードで動作する場合、前記画像処理装置は、第２の通信速度で通信を実行し、前記第２の処理によって前記第２の電力モードから前記第１の電力モードに移行した前記画像処理装置は、前記第２の通信速度より高速な第１の通信速度で通信を実行することを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００５０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００５０】

ＨＴＴＰフレーム５３０に含まれる情報は、ＨＴＴＰアクセスの場合と同様、本実施形態において、パケット・ボディ部（データ部）として処理される（Ｓ４０４、Ｓ４０５）。ＨＴＴＰフレーム５３０に「POST / IPP/1.1」等のＩＰＰヘッダが設定されていた場合に、受信パケットはＩＰＰパケットであると判定される。更に、ＩＰＰフレーム６００は、ＲＦＣ２５６６で規定され、受信パケットが印刷ジョブの要求（印刷要求）を含むか否かを判定するために、パケット・ボディ部として参照される（Ｓ４０５、Ｓ４０５）。ＩＰＰフレーム６００のオペレーションコード・フィールド６０１の値が「0x0002」である場合、受信パケットは印刷ジョブの要求（印刷要求）のためのパケットであると判定される。